

スーパーバリュー、「Too Good To Go」導入店舗を全店へ拡大 約2カ月の運用を経て、一都二県の全26店舗でサービス提供開始



フードロス削減と、
お買い物体験の楽しさ向上へ

2026年3月
東京都内
2店舗で運用開始
スーパーバリュー 杉並高井戸店
スーパーバリュー 等々力店

2026年5月
東京都内
11店舗へ拡大

2026年6月17日～
埼玉県・千葉県へ拡大
全26店舗で展開



「おいしいは、人が生きる力」を経営理念として掲げる「株式会社OICグループ（以下、OICグループ）」は、グループ会社の「株式会社スーパーバリュー（以下、スーパーバリュー）」において、世界No.1※北欧発のフードロス削減アプリ「Too Good To Go（トゥーグッドトゥーゴー）」の導入店舗を、2026年6月17日より一都二県全26店舗へ拡大いたします。

スーパーバリューでは、2026年3月より東京都内2店舗で本サービスの運用を開始しました。これまでの運用を通じて、廃棄コスト削減に加え、新たなお客様の来店動機につながるなど、フードロス削減と来店機会の創出を両立させています。この成果を背景に、現在は商品展開の幅をさらに拡大させています。

これらの成果を踏まえ、このたびサービス提供店舗を一都二県全26店舗へ拡大いたします。従来の値引き販売に加え、中身を開けるまでのお楽しみとなる「サプライズバッグ」の販売を通じて、お客様に新たな商品との出会いやお買い物楽しさを提供していきます。

OICグループは、グループ全体で取り組むフードロスプロジェクト“おいしー♥たのしー♥もったいないしー♥”の一環として、持続可能な食の循環の実現に取り組んでいます。今後も食料資源を有効活用しながら、“楽しいお買い物体験”の提供とフードロス削減の両立を目指してまいります。

【プレスリリース】

2026年6月16日

株式会社OICグループ

株式会社スーパーバリュー

フードロス削減と“楽しいお買い物体験”の両立を目指し、全26店舗へ拡大

現在日本国内では、事業活動において発生する事業系食品ロスが年間約231万トンに上るなど、フードロスが大きな社会課題となっています。また、原材料価格の高騰などによる物価高も続いています。

これらの課題に対し、関東エリアを中心に食品スーパーを展開するスーパーバリューでは、2026年3月より東京都内2店舗にて「Too Good To Go」の運用を開始し、5月より東京都内の対象店舗へ運用を拡大しています。

導入店舗では、まだおいしく食べられるにもかかわらず、販売機会を失いかねない食品を「サプライズバッグ」として販売してまいりました。これまでの運用を通じて、廃棄コストの削減に加え、「Too Good To Go」の利用をきっかけとした新規のお客様の来店にもつながっています。

また、定期的にご利用いただくお客様も増えており、「中を見るのが楽しみ」「この前すごく良かった」といった声も寄せられています。店舗からも、「サプライズバッグ」がきっかけとなり、他の商品もお買い求めいただける点に手応えを感じています。

こうした東京都内2店舗での運用実績を踏まえ、まず都内の対象店舗へ展開を拡大しました。その後、郊外型店舗においても確かな手応えが得られたことから、より広範囲のお客様にも同様のサービスを提供するため、このたび一都二県の全26店舗へ拡大いたしました。

「サプライズバッグ」の実施店舗は、以下の通りです。

拡大開始日 : 2026年6月17日より

商 品 : 惣菜の一部商品

既存実施店舗: 【東京都】

福生店、志茂店、西尾久店、松原店、国立店、等々力店、品川八潮店、
練馬大泉店、府中新町店、杉並高井戸店、八王子高尾店

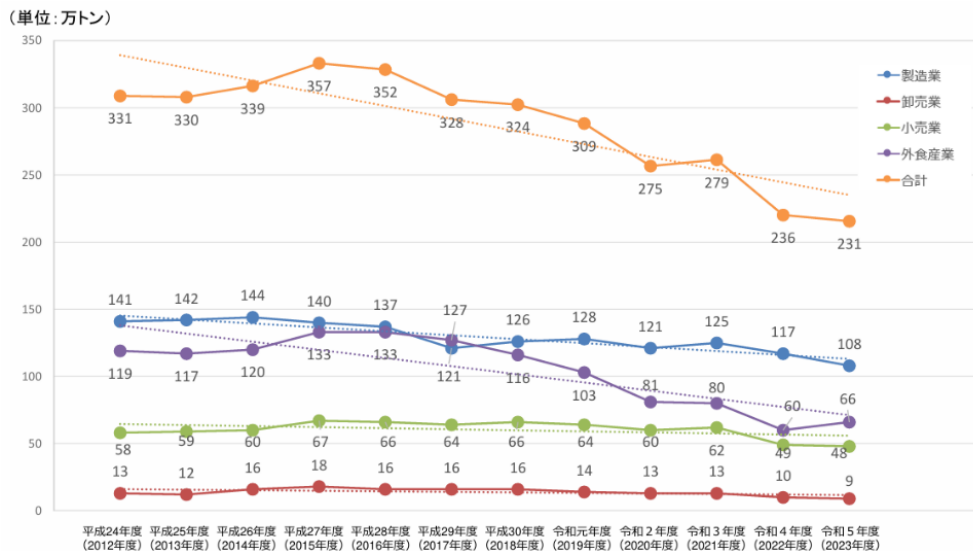
新規導入店舗: 【埼玉県】

越谷店、岩槻店、春日部大場店、春日部小湊店、南浦和店、川口前川店、
大宮三橋店、戸田店、草加店、飯能店、川口伊刈店、入間春日町店

【千葉県】

松戸五香店、南船橋店、幕張西店

※店舗や期間は、商品の販売状況により、予告なく中止、変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



図：農林水産省「事業系食品ロス量（2023年度推計値）の推移」2025年6月27日公表

OICグループのフードロス削減に向けた取り組み

OICグループは、生産・製造・流通・小売・外食までを展開する“食品総合流通業”として、食料資源の有効活用と持続可能な食の循環の実現を目指しています。グループ全体で取り組むフードロスプロジェクト“おいしー♥たのしー♥もったいないしー♥”を推進しており、今回の取り組みもその一環として実施いたします。



※“おいしー♥たのしー♥もったいないしー♥” ロゴマーク

【プレスリリース】

2026年6月16日
株式会社OICグループ
株式会社スーパーバリュー

株式会社スーパーバリュー 代表取締役社長 浜野 仁志 コメント

スーパーバリューは、日々の買い物を単なるルーティンではなく、驚きや感動のある体験へと変えていきたいと考えています。東京都内2店舗での運用を通じて、本取り組みを継続的に実施できる手応えを得ることができました。お客様から「中を見るのが楽しみ」といった声も頂いており、本取り組みがお買い物の楽しさにつながっていることを実感しています。今回の全店舗拡大を通じて、より多くのお客様に新たなお買い物体験をお届けしてまいります。



株式会社スーパーバリュー 代表取締役社長
浜野 仁志

「Too Good To Go」について

「Too Good To Go」は、余った食品に価値を見出し、食品廃棄物のない地球を目指す、デンマーク発のソーシャルグッドカンパニーです。欧州、北米、アジア太平洋地域など21カ国で、1億2,000万を超える登録ユーザーと20万以上の加盟パートナー企業とともに世界最大のフードロスマーケットプレイスを展開しています。

これまで累計6億食以上のフードロス削減に貢献しました。グローサリーストア、ベーカリーカフェ、カジュアルレストラン、ファストフード、食品メーカーや卸業者など、幅広い業態と提携しており、Carrefour、ALDI、ユニリーバ、スターバックス、Whole Foods Market、SPAR、PAUL Groupなどが参加しています。日本国内においては、正式ローンチから約3ヶ月半で登録ユーザー数50万人を突破し、展開国21カ国の中でも最速の成長を記録しています。

※世界No.1：フードロス削減アプリにおけるユーザー数に関する調査。

- ・調査期間：2025年10月時点。
- ・調査対象：最大65か国にまたがるB2C向けフードマーケットプレイス88社。
- ・調査方法：各競合について、ニュースフィード、プレスリリース、公式サイトにて公開されたユーザー数情報を調査（Too Good To Go社調べ）。

OICグループについて

“おいしい・たのしい・うれしい”食体験を世界に届ける、“食品総合流通業”を展開するOICグループは、1971年に精肉専門店として創業し、他の生鮮食品も取りそろえるスーパーマーケットに事業を拡大しました。現在では、小売の枠を超え、生産・製造、貿易、卸、外食まで事業を拡大し、“食のテーマパーク”と位置付けて展開しています。日本国内のみならず、アジアから世界で成長を続け、2031年度までに売上高2兆円の実現を目標としています。

商号：株式会社OICグループ
本社：神奈川県川崎市幸区南幸町2丁目9番地
設立：1971年4月28日
代表者：代表取締役 高木 勇輔
売上高：5,213億円（2025年2月期）
事業内容：食品スーパーマーケット・食肉専門店・外食店舗の運営、肉加工品・パン・惣菜・調味料などの

【プレスリリース】

2026年6月16日

株式会社OICグループ

株式会社スーパーバリュー

製造・販売、食肉・青果物の生産・販売、生鮮品・加工食品・酒の輸出入・卸

スーパーバリューについて

スーパーバリューは、「いつも、あなたの、すぐそばで」を掲げ、地域のお客様の豊かな生活を支える食品スーパーとして、首都圏を中心に店舗を展開しています。食品スーパーでは、「地域の皆様の毎日の食卓をサポートする」ことをモットーに、“生鮮市場”を屋号に掲げ、「品質の高さ」と「価格の安さ」を両立した商品提供に取り組んでいます。また、店舗を中心に地域ごとのニーズへきめ細かく対応し、お客様に“選ぶ楽しさ”を提供することを重視しています。

商 号：株式会社スーパーバリュー

本 社：埼玉県上尾市宮本町5番18号 三協堂ビル4階

設 立：1996年3月

代 表 者：代表取締役社長 浜野 仁志

事 業 内 容：食品スーパーマーケット・ホームセンター店舗の運営

本件に関するお問い合わせ先

株式会社OICグループ 経営戦略本部 広報室：<https://oicgroup.co.jp/contact/media>

